

「土曜日の訪問が幸せな理由がわかりますか？」

長期欠席者も気を落としている人も戻ってこさせた2-3男性宣教会3,4組の聖徒訪問

充実した信仰生活のためには、祈り、みことば、礼拝、奉仕、教育、訪問、伝道などの様々な要素が必要だ。これらすべてがバランスを取ってこそ、健康なクリスチャンになれる。この中で聖徒訪問がこれほど重要な理由は何だろうか？



喜びながら訪問と伝道をして頭角を表している宣教会があり、話題になっている。それは2-3男性宣教会の3,4組だ。彼らは45才、1965年生まれである。昨年までは活発に活動していなかったという。ところが、彼らが一つの心になってリバイバルで来たのは、他にもなく聖徒訪問の活性化のおかげだそう。

今年2月から毎週土曜日、変わらずに長期欠席者、気を落としている人を訪問して、今まで27人も取り戻した。それだけでなく、会員たちの家庭と職場、事業の場に祝福があふれている。リバイバルと祝福の秘訣が何か、訪ねてみよう。

入念な訪問準備

2-3男性宣教会の会員たちの土曜日は非常に忙しい。他の人々が週日一生懸命働いてから、家族と一緒に休んでいる昼の12時頃、会員たちはイ・ジョンン4組長の家で集まる。「いらっしやい、うれしい土曜日です。」互いに握手して挨拶する時は、笑みがこぼれる。ある程度集まったらと思えば、ラーメンやスイートで簡単な昼食を取る。続いて訪問のスケジュールを決めて、祈った後、身上記録などをしまえば準備完了！

「これから運転するとき、主イエス様ご自身がハンドルを握って、目的地まで安全に導いてください。運転する神の子どもたちと乗っている人々も守ってください。」最後に堂会長イ・ジェロク牧師の声が録音されたカセットテープ「一日を始める祈り」と「安全運転のための祈り」を受けて、訪問地に出発する彼らの顔はひたすら幸せだ。「最初は三、四人が一チー

ムになって活動しました。後半期からは参加人数が多くなって、二、三チームに分けて、いろいろな地域を訪問するほど良い反応が来ましたよ。すべてが神様の恵みです。」(キム・ウルジョン3組長)

実を結ぶ聖徒訪問のテクニク

2-3男性宣教会3,4組は毎月第二主日、堂会長イ・ジェロク牧師に訪問結果を報告して、祈りを受けることも忘れない。すべてが自分たちの力でなく、神様の力であることを認めて、へりくだって信仰によって祈りを受けるのである。訪問の対象者は新来者だけでなく、長期欠席会員、様々な問題で気を落としている会員、教会に定着するまで関心と愛が必要な会員など。

働き人たちが教務局から提供された会員名簿を共有して、一緒に祈ってから電話をかける。

番号が違っていたり、つながらなけれ

ば、導いた人や家族に連絡先と近況を聞く。新来者や長期欠席者がドアを開けて訪問を待ってはくれない。忍耐と愛であきらめずに10回余り訪問したあげく、教会に出て来た例もある。神様が働かれる時まで、忍耐が何とんでも必要だ。

「魂のために祈るとき、喜びと幸せがあふれます。これまでは私と家族のために祈る時間が多かったんです。でも、魂のために祈ると、自分の心がもっと聖霊に満たされます。」(彼らは異口同音に言う。

訪問すると、どうしても無理な場合でなければ、礼拝をささげる。メッセージを伝えて、神の力の込められたハンカチ(使徒19:11-12)を当てて、愛をもって祈るとき、神のみわざが現れるからだ。車の中で一緒に訪問礼拝をささげる時もあり、初めはドアを開けてくれなかったけれど、結局、関心と愛にほだされて、ドアを開けてくれたことも多い。また、顔を赤くしながらも、

笑いながら「祝福されるには礼拝をささげなくてはね」と言ったとき、相手が感動して、礼拝の準備をしてくれたこともある。魂を愛する心をご覧になった神様が働かれたのだ。

豊かな祝福の事例

彼らは訪問しながらやりがいを感じ、幸せがあふれる。家庭の不和でさまよっていた会員がなごやかな家庭を作り、病気で苦しんでいた会員がいやされて幸せに過ごしている。かと思えば、事業の不渡りで苦境にあった会員が再起の足場を用意するなど、貧しかった家庭に物質の祝福があふれる。これだけでない。組長をはじめ多くの働き人が物心両面で献身した結果、家庭と職場、事業の場に霊肉ともに祝福があふれる。3組の9機関ユニ・ピョン機関長は、2-3男性宣教会で第三四半期リバイバル最優秀賞を受けた。

「実は、長期欠席者、気を落としている人をたくさん取り戻したことも感謝ですが、もっと感謝なのは働き人たちの変化です。停滞していた信仰から目を覚まして、家庭が福音化され、物質の祝福を受けて幸せに生きています。」(キム・ウルジョン3組長)

「私がデジョンから初めて本教会に来た時は、一間の部屋に住んでいました。今は家ができて、会員の集会所として使っています。十分の一献金も100万ウォンを越えるように祝福されて、魂を救う助けになるように、毎月訪問費を贊助しています。みんなと分かち合えて、本当に幸せです。」(イ・ジョンン4組長)彼らのように福音を伝える美しい足になって、神様の愛と祝福をたっぷり受ける聖徒たちになるように期待する。

*この証しはキム・ウルジョン組長(3組)、イ・ジョンン組長(4組)、ユニ・ピョン機関長(3組9機関)他の話をまとめたものです。



2-3男性宣教会3,4組が聖徒訪問の活性化でさらに一つになった。働き人とイ・ダルジョン宣教会長、長期欠席者だった会員たちのガッツポーズ。

日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- ・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://hidamanmin.to.cx/>
- ・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- ・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- ・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

- ・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌島町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.eonet.ne.jp/~osakamanmin/>
- ・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目11-23
T) 0166-53-0652
- ・イエス・キリスト東京日端万民教会
〒114-1102 東京都北区日端新町 2-25-3
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

- ・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中郷2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-277-0178
- ・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- ・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市宇上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>
- ・岡山万民教会
〒701-2155 岡山市北区中原460
T) 086-275-7276

- ・イエス・キリスト八千代万民教会
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670
T) 047-483-3587
- ・イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177
- ・イエス・キリスト東京万民教会(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- ・横浜鶴見福音教会(協力)
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野町3-104-4
T) 045-521-5843

01 ニュース

新型インフルエンザも「祈りの力によって」

なぜマンミンの聖徒は新型インフルエンザを恐れないのだろうか？ みことばどおりに生きるから守られ、イ・ジェロク牧師の祈りによっていやされたニュース

02 いのちのみことば

信仰の量り(14)

どんな代価も顧わなくて、条件なしに神様を第一に愛する信仰の四段階の三番目の特徴について語る

03 PEOPLE

与える愛は小さくても、受ける愛は大きいです。

マンミンの聖徒は「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」という主のみことばを実践している。マンミン奉仕隊と、主が下さった賜物で忠実に仕えている三つの宣教会を紹介する。

04 証し

土曜日の訪問が幸せな理由がわかりますか？

長期欠席者も気を落としている人も教会に戻ってこさせた2-3男性宣教会3,4組、彼らは聖徒を訪問して驚きのリバイバルも体験した。



新型インフルエンザも「祈りの力によって」

11月13日午後4時半頃、堂会長イ・ジェロク牧師に会うために牧師館に来たイム・ヒョンテ聖徒はせっせと話していた。

三日間、高熱で苦しんで目まがいて、うごごまて言っていた娘ジユル(9才)が、新型インフルエンザ陽性と判定されたのである。イム聖徒は堂会長イ・ジェロク牧師に娘の症状を説明し、イ牧師は携帯電話でイエス・キリストの御名によって娘に祈った(写真下中央)。その後、熱が下がり、症状が軽くなるようにいった。

11月16日、ジユルが病院で検査してもらったら、陰性であった。寒くなって季節性インフルエンザが流行し、新型インフルエンザ感染者も急激に増えている。韓国の新型インフルエンザ感染者は2009年11月現在、1万人を越え、保健福祉家族部は新型インフルエンザの伝染危機段階を最高レベルの「深刻」に引き上げた。国民は心配を越えて、



新型インフルエンザ患者はインターネットや衛星放送を通して家で礼拝をささげているので、家族が代わりに写真を持っていったり、携帯電話で堂会長イ・ジェロク牧師の祈りを受けている。

恐れまで感じている。誰かがそばで咳をするだけでも不安になる。旅行を控えることはもちろん、予定された集会や行事まで中止している。

11月17日午後9時頃、ソウル市クロ区ク3棟にある万民中央教会の本聖殿は聖徒でいっぱい、空席を見つけにくいほどだ。13日から始まった「2回連続特別ダニエル祈禱会」が毎夜開かれているからだ。支教会を除いて本

教会だけでも、一日3000人を越える聖徒が集まって、唾液から伝染する新型インフルエンザとは関わりなく、主を呼んで祈っている。主日、金曜徹夜、水曜などの定期礼拝はもちろん、火曜地域祈禱会、区域礼拝なども、今までと同じように行われている。

マスクをかけた人は目につかない。なぜマンミンの聖徒は新型インフルエンザを恐れないの

だろうか？ 聖書には「その命令に耳を傾け、そのおきてをことごとく守るなら、わたしはエジプトに下したような病気を何一つあなたの上に下さない。わたしは主、あなたをいやす者である。」(出エジプト15:26)というみことばがある。

2009年11月現在まで、本教会の聖徒のうち約20人が堂会長イ・ジェロク牧師の祈りで新型インフルエンザがいやされた。新

型インフルエンザにかかったのは、ほとんどがみことばどおりに生きなかったので守られなかった場合だ。しかし、私たちのほうからも注意し、もっと完全に守られる。

9月6-7日の「2009年イスラエル連合聖会」の時、堂会長イ・ジェロク牧師は現地の牧会者たちの依頼で、イスラエルでの新型インフルエンザの拡散を防ぐために祈った。その後、感染者が減っていると現地の牧会者たちが手紙で伝えてきた。

11月15日、主日夕方礼拝を終えて、祈りの家へ行く前、イ牧師は次のように言った。「もし私がいない時に新型インフルエンザにかかったら、写真と名前、教区、性別、年齢を書いて、秘書室か企画室に知らせてください。そこで祈りますから。」

でも、私だけに頼らないで、主のしもべや地域長に連絡して、ハンカチの祈りを受けてください。そうすれば、いやされるでしょう。」

神様の「贈り物」に感謝が増した収穫感謝祭



11月15日(主日)に収穫感謝祭礼拝をささげた。堂会長イ・ジェロク牧師は主日大礼拝で「神の恵み」(マラキ3:10)、夕方礼拝で「人の子の肉とその血」(ヨハネ6:53-55)という説教をした。夕方礼拝の時は聖餐式があった。女性宣教会は下の講壇をさまざまな穀物、野菜、果物と美しい宝石で飾った。全聖徒が神様の前に豊かな実、宝石のように輝く実に変えられて出てくるように願ってである。収穫感謝祭の飾りのために、女性宣教会は1-5連合会が一つになって奉仕した。1連合会の会員は果物を、3連合会は野菜を購入

して、心を込めて磨いた。4、5連合会は米、麦、黒米などの穀物から石をより分けた。手先が器用な2連合会の会員は講壇を飾った。支教会からも心を込めた献品が送られた。ムアン万民教会からは玉ネギ、ミラン万民教会からはりんごなど、地元の特産物を送ってきた。

東クアンジュ、チョナン、西ブサン、ウルサン、クミ、クアンジュ、プサン万民教会と男性宣教会、パウロ、マリア、カナン宣教会、祈りの供え物、エステル会、それに聖徒36人は献品で講壇を飾った。神様が私たちの心の香りを喜んで受けられ、さらに多くの感謝の実が結ばれるよう祈る。

インマエル聖歌隊の指揮者、新しく任命

1983年から27年間、音楽牧師としてインマエル聖歌隊の指揮を担当したアン・ソンホン牧師が魂の救いに専念するようになり、11月22日からキム・ハング執事が同聖歌隊の指揮を引き継ぐ。キム・ハング執事はソウル大音楽部器楽科を卒業、オランダのツボルコンソバトリウムとメシアン



アカデミーでトランペット最高演奏者過程を、オランダのロッテルダムコンソバトリウムとボンティスコンソバトリウムで指揮最高演奏者過程を修了した。クアンジュ大学講師を経て、ロッテルダム・ヨーン・フィッハー・モニーオーケストラの団員、アルテナ、リムブルグ、ロッテルダムハーモニーオーケストラなどで客員指揮した。現在はメシアン・オーケストラ管楽器全体首席、ヤンウンプロアン・ハーモニーオーケストラ常任指揮者として活動している。キム・ハング執事は「インマエル聖歌隊が世界最高の聖歌隊になってほしいです」と述べた。



堂会長イ・ジェロク牧師

1. たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康である信仰の四段階

ヨハネの手紙第三2節に「愛する者よ、あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります」とあります。「すべての点でも幸いを得、また健康である」とは、病氣にかかわらず健康であるだけでなく、家庭、職場、事業の場とすべての点でも栄えることを含みます。たましいに幸いを得ている人は、神様がいつもすべてのことを先んじて解決して下さるので、何をしても死に渡して下さいます。イエス・キリストを自分の救い主として受け入れた人には、神様が聖霊を遣わして下さいます。聖霊は私たちの心に来られて、死んでいた霊を生き返らせて、私たちが心に再び真理の知識を一つ一つ満たせるように助けて下さいます。みことばを聞く時に悟れて信じられるように導き、罪と義とさばきについて悟らせて下さるので、それで毎瞬、真理で思って、話して、行なえるように、力を与えて下さるのです。

それでは、「たましいに幸いを得ている」とは、具体的にどういうことでしょうか？ それは、死んだ霊が生き返って、霊とたましいとからだが秩序正しくなることです。主を受け入れたので死んだ霊が生き返り、その霊がたましいとからだを治める主人の役割をするようになることです。これを簡単に説明してみましょう。もともと神様が最初の人アダムを造られた時は、いのちの息を吹き込まれました。それで生きものになったアダムは、神様と交わりのできる「霊」、そして、霊に支配される「たましい」と、霊とたましいを入れる幕屋である「からだ」で構成されていました。

ところが、アダムが神様の命令に逆らって、善悪の知識の木の実を取って食べて罪を犯すと、「罪から来る報酬は死」という霊の世界の法則に従って、アダムの霊が死んでしまいました。ここで「霊が死んだ」とは、霊が消滅したということではなく、霊の活動が止まってしまったという意味です。このように霊が活動を中止すると、たましいが霊の代わりに主人の役割を始めました。「たましい」とは「脳の記憶装置」と、その中に記憶されている知識、そして、それを思い出す働き「これらをまとめたものです。人が生きていながら何かを体験するとき、それを記憶して、引き出して思い、活用することなどがすべてたましいの働きです。

霊が生きていて主人の役割をしていた時は、神様と交わりながら神様から真理の知識を受け入れました。それで、たましいの働きも真理の働きだけで、からだも霊が願うとおり真理に従ってだけ行ないました。ところが、霊が死んで神様との交わりが途絶えると、敵である悪魔・サタンがたましいを通して人に働

きかけ始めました。神様が人の心に植えて下さった真理の知識が一つ一つ抜けていき、代わりに敵である悪魔・サタンが吹き込む真理に逆らう知識と罪と悪が植えられる。時間が経つにつれて、ますます人の心は真理に逆らうもので染まっていき、あらゆる罪と悪の中に生きることになりました。

それでは、どうすれば死んだ霊が生き返るでしょうか？ 道であり、真理であり、いのちであるイエス・キリストを救い主として受け入れて、聖霊を受け入れなければいけません。神様は人類の罪を赦すために、何の罪もないイエス様を死に渡して下さりました。イエス・キリストを自分の救い主として受け入れた人には、神様が聖霊を遣わして下さいます。聖霊は私たちの心に来られて、死んでいた霊を生き返らせて、私たちが心に再び真理の知識を一つ一つ満たせるように助けて下さいます。みことばを聞く時に悟れて信じられるように導き、罪と義とさばきについて悟らせて下さるので、それで毎瞬、真理で思って、話して、行なえるように、力を与えて下さるのです。

このような聖霊の働きに従っていくと、御霊によって霊を生むことができます。高ぶり、憎しみ、憤り、そねみ、姦淫、欲のように、敵である悪魔・サタンが心に吹き込んだ真理に逆らうものが一つ一つ捨てられて、代わりに心が真理で満たされていきます。完全に真理で満たされると、神様が最初に造られた人のかたちを取り戻すようになります。これがたましいに幸いを得ていることなのです。心の真理に逆らうものをすべて捨て、たましいに幸いを得ている人は、信仰の四段階に入ってきたのであり、これ以上朽ちる肉に属する人でもなく、たましいに支配されている人でもありません。心に悪そのものがなければ、サタンがたましいを通して真理に逆らう思いをするように仕向けられないのです。

これは、まるでラジオの局を選択するようです。どの局を聞くかは周波数をどこに合わせるかによって決まるように、霊が主人である人の心はその周波数が聖霊に合わせられているし、たましいが主人である人の心はサタンに合わせられています。真理で心が満たされると、霊が主人である人は、心に聖霊の働き、すなわち、真理だけを受け入れて、たましいとからだは主人である霊に従うので、真理の思い、真理の行ないだけをするのです。一方、たましいが主人である人は、すべてのことにサタンが好きなおりに思い、悪を行なってい

信仰の量り(14)

「私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えて下さった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」(ローマ12:3)

「愛する者よ、あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。」(第三ヨハネ2)

くのです。たとえば、普段から気に入らなかつた相手が再びいやな行ないをするのを見ました。すると、サタンがたましいを通して「またあんなことして。いやだ」という真理に逆らう思いを吹き込みます。この時、心に憤りやかんしゃくのような悪があれば、このような真理に逆らう思いを心に受け入れて、憤ったり、相手を叩いたりする行ないです。

しかし、たましいに幸いを得ている人には、サタンがいらいら真理に逆らう思いを吹き込もうとしても、心にそれを受け入れる悪がありません。心に憎しみ、憤りの代わりに愛と赦しと憐れみだけがあるので、相手がいくら礼儀に反することを行なっても、善だけを追い求めて、相手の立場を理解して、愛して、心にいづるのです。ですから、まるで周波数が合わなければ放送が聞けないように、サタンがその人の心に働くことができないのです。このような人の心には、八つの幸いと愛の章の愛が臨んでいて、御霊の九つの実もだんだん完全に結ばれていきます。

2. たましいに幸いを得ている人に臨む祝福の具体的な例

それでは、たましいに幸いを得て、すべての点でも幸いを得、健康である人、すなわち信仰の四段階に入った人は、どんな祝福を受けるでしょうか？

前に天国の場所について説明したとき、信仰の三段階と四段階がとどまる場所は、その栄光と報いが天と地の差だと言いました。ところが、天国だけでなくこの地上で頂く祝福にも、このような差があります。心の罪まで捨てた信仰の四段階に入れば、まことに聖なる神様の子どもとも言えるので、光の子どもとして霊的な権勢を本格的に頂けるのです。〈ヨハネの手紙第一5:18〉に「神によって生まれた者はだれも罪の中に生きないことを、私たちは知っています。

神から生まれた方が彼を守ってくださるので、悪い者は彼に触れることができないのです。」とあります。悪い者、すなわち、敵である悪魔は、罪の中に生きている肉の人を訴えて、試練や患難をもたらします。しかし、心の罪まで捨てた御霊の人は罪を犯さないの、神様から完全に守られて、どんな災いにもあわないのです。もちろん、完全に御霊の歩みに入るために神様があて許される訓練はありますが、これは敵である悪魔がもたらす

試練や患難とは違って、訓練を受けている間でもすべてのことに榮えて、神様がともにおられることが感じられます。

ヨセフがそうでした。たとえ神様の摂理にあってエジプトに奴隷として売られていき、濡れ衣を着せられて監獄に入れられても、神様がともにおられたので、何をしても主が成功させて下さいました。このように神様が直接導いて練られたので、訓練が終わった後は、最も輝いた座にまで導いて下さったのです。

〈ヨハネの手紙第一3:21-22〉に「愛する者たち。もし自分の心に責められなければ、大胆に神の御前に出ることができ、また求めるものは何でも神からいただくことができます。なぜなら、私たちが神の命令を守り、神に喜ばれらるることを行なっているからです。」とあります。

このように御霊の人は罪を犯さないの、霊的な権勢があるだけでなく、ほかの分野でも神様の前に大胆に出ることができ、求めるものは何でも頂くことができるのです。そのうちの一つが健康の祝福です。御霊の人は病氣やわずらいによって苦しみません。いつも聖霊の炎の壁で守られているので、病氣が入ることもできないだけでなく、ひよとして不注意で病氣にかかっても、折ると直ちに聖霊の火で焼き尽くされるのです。

皆さんは、まだ御霊の歩みに入る前でも、信仰をもって霊の空間にいる時は、多くのいやしのみわざを体験されているでしょう。病氣だけでなく、ひよとしてミスで交通事故にあって車は廃車するほどになっても、完全に守られたことが見られます。まして御霊の歩みに入った人ならば、言うまでもありません。病氣や事故とかかわりなく生きようになり、年を取っても衰えることがありません。御霊の歩みにさらに完全に入るなら、若返りして、むしろ若者より健康になるのです。

また、御霊の人は他人のために折っても、いやしのみわざが現れます。もちろん、完全に神の力を受けるためには、信仰の五段階にならなければなりません、〈ヤコブの手紙5:16〉に「ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働く、大きな力があります。」とあるとおり、信仰の四段階からもうすでにいやしのみわざが現れるのです。

信仰の四段階では、健康だけでなく物質、名誉、知恵、そのほかのどんな分野でも豊かに答えられて祝福されます。これについては、次の回に語ります。

「与える愛は小さくても、受ける愛は大きいです」

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」(マタイ22:39)と主は言われる。主に受けた恵みを隣人と分かち合うとき、その喜びは二倍になる。主も私たちに仕えるの手本を見せられた。

分かち合いと仕えて幸せに生きている多くの聖徒がいる。自分が属している所で仕えることを探してもするが、教会にある奉仕団体や特定の宣教会に加入して活動したりもする。万民中央教会を代表する奉仕団体、マンミン奉仕隊と、与えられた賜物を用いて聖徒に仕える宣教会のうち、三つを紹介する。

ルカ医療奉仕会

病氣の人に愛で近づく医師たち



ルカ医療奉仕会は堂会長イ・ジェロク牧師に現れる神の力を証明する医学的な資料に基づいて、病氣で苦しむ聖徒に信仰を蒔いて、希望を与えようと作られた。1999年、本教会の聖徒の医師と看護師3人が集まって自発的に始まったルカ医療奉仕会は、現在、医師、看護師、薬剤師、病理検査士、理学療法士、放射線技師など、医療に従事する人々で構成されている。医師でありながら聖書、ルカの福音書を記したルカのように、与えられた賜物を用いて主の働きを忠実に実現したいと願って活動している。

彼らは神の力によっていやされた事例を医学的に検証して資料化し、生ける神を証しする。教会の中では、堂会長イ・

デザイン宣教会

神様の聖殿を私の手で飾ります



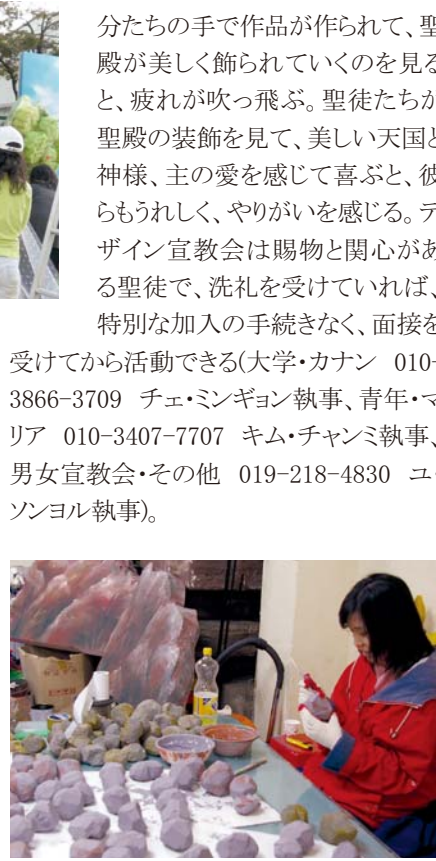
デザイン宣教会では、美術とデザインを専攻した会員と、素質と関心のある会員が活動している。

1994年12月、神様の聖殿を美しくデザインしようと、その分野で働いている聖徒たちが集まって、美術宣教会という名前を始めた。活動としては、クリスマスの本聖殿の装飾デザインと施工、イースター・カンタータの舞台デザインと装飾、創立行事のイメージデザイン、教会行事の小道具製作、例祭の講壇文字(第2、3聖殿)などがある。本格的に行事の準備に入れば、退勤した後、急いで教会に来て、数日間徹夜をしなければならない時もある。しかし、一つ一つ自



デザイナー宣教会

分たちの手で作品が作られて、聖殿が美しく飾られていくのを見ると、疲れが吹っ飛ぶ。聖徒たちが聖殿の装飾を見て、美しい天国と神様、主の愛を感じて喜ぶと、彼らもうれしく、やりがいを感じる。デザイン宣教会は賜物と関心がある聖徒で、洗礼を受けていれば、特別な加入の手続きなく、面接を受けてから活動できる(大学・カンナ 010-3866-3709 チェ・ミンギョン執事、青年・マリア 010-3407-7707 キム・チャンミ執事、男女宣教会・その他 019-218-4830 ユンヨル執事)。



奉仕の喜びと幸せを知っている人たち マンミン奉仕隊

本教会を代表する奉仕団体としては、マンミン奉仕隊がある。総隊長チョン・ウンレ長老、総部隊長コン・ソックアン、ノ・ハリオン執事を中心に、現在128人が献身している。各種キリスト教界連合行事の時は、交通、駐車案内などを担当し、全羅南道チャンソンの大雪地域の支援や、テアン郡の流出油除去作業などを支援した。この他に、教会内外の交通案内と駐車、車椅子奉仕、聖殿掃除、礼拝の週報配り、主日の昼食および血洗いの奉仕などを行っている。

その中には、壮年のハレルヤ奉仕隊、ハレルヤ姉妹奉仕隊、青年のヨシユア奉仕隊、そして旗手団、リズム



美容師宣教会

身寄りのない隣人の髪を手入れしながら主の愛を



美容師宣教会は1994年に美容師と経験者で作られた。毎月、礼拝と懇親会で信仰を固め、セミナーなどの多様なプログラムで技術の共有および向上のための教育もしている。これまで美容師宣教会は病院に一般の患者だけでなく、旅行中に倒れた病人や重病人を対象に髪の手入れをしてきた。また、農漁村を訪ねて、カットやパーマの奉仕をするともに、集会を開いて福音を伝えてきた。

カンウォン道チョルウォンのある教会の牧師は、本教会のメッセージを聞いて恵みを受けているうちに、美容師宣教会があることを知って、集会和奉仕を依頼したこ

ともある。また、障害者の集会に招かれたり、老人ホームなどを訪問してカット、パーマの奉仕をしている。毎月、特別養護老人ホームを訪問して、美容奉仕もしている。教会行事の時にも、芸能委員会や聖劇の出演者の美容奉仕をする。いつもしている仕事だが、身寄りのない隣人の髪を手入れすれば、その喜びは格別だ。

美容師宣教会はメーカー、マッサージ、ネイルアートなど、多様な分野で働く会員たちの支援によって、いっそう活発に美容奉仕で福音を伝えようとしている。美容師宣教会は美容師が経験者なら、面接してから活動できる(010-6807-7279 会長イ・マルレ執事)。



Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



MANMIN TV

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.manmintv.org
e-mail: info@manmintv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市九老区九老3洞 235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048